

農技セ第6508号
平成26年6月30日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

平成26年度技術情報について

平成26年度技術情報第1号を公表したので送付します。

平成26年度技術情報第1号

平成26年6月30日
徳 島 県

雑草地におけるすくい取り調査において、斑点米カメムシ類の生息数が多かったことから、今後出穂期を迎える水稻での斑点米被害の多発生が懸念されます。
現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：早期水稻

病虫害名：斑点米カメムシ類（特に、アカスジカスミカメ、その他にホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ等）

1.発生地域 県下全域 特に休耕地・イネ科牧草地周辺の水田

2.加害時期 出穂期以降（7月中旬頃～）

3.発生状況

- (1) 6月後半の水田周辺雑草地における生息調査（1地点当たり捕虫網20回振り）では、20地点のうち14地点で生息を確認した。捕獲地点率は70.0%、1地点当たりの捕獲虫数は9.2頭であり、平年（58.6%、6.3頭）と比べてやや高めの発生である。
- (2) 6月26日発表の1か月予報では、前半は平年に比べ曇りや雨の日が多いが、後半は平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されており、発生には中間的な気象条件である。

4.防除法等

- (1) 斑点米カメムシ類の生息場所となる周辺雑草を、水稻出穂の10～15日前までに除去・処分する（但し、出穂直前の除草は本田内に斑点米カメムシ類を追い込むことになるので行なわない）。
- (2) 出穂が早い圃場に集中して飛来する傾向があるので、周辺雑草地や本田での発生に注意し、発生を認めたら早急に防除を行なう。
- (3) 薬剤散布については各薬剤の登録内容を確認のうえ、液剤等で出穂期と乳熟期（出穂後約2週間頃）の2回防除を行なう。
- (4) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。